

特 記 仕 様 書

水門樋門等点検要領

水門樋門等点検業務（以下「業務」という。）は次の定めるところにより実施する。ただし、この要領に定めのない軽微な事項については受託者（以下「乙」という。）は委託者（以下「甲」という。）の指示に従うものとする。

1) 目的

本要領は、水門樋門等の施設を常に良好な状態に保持・機能させることを目的として保守点検を実施するものである。

2) 点検箇所

別紙位置図のとおりとする。

3) 点検業務内容

イ) 施設の点検については、ダム・堰施設技術基準、水門鉄管技術基準及び河川用ゲート設備点検・整備・更新検討マニュアル(案)を使用するものとし、監督員と点検項目について協議の上、実施すること。

ロ) 点検作業員は、業務について十分な知識と経験を有する者でなければならない。

ハ) 点検に際して乙は、操作人の立会の上作業を行うものとする。ただし、甲の承認を得た場合はこの限りではない。

ニ) 点検に際し河川工作物個票を作成し、異常がある場合には原因及び対策を個票に詳しく記入し、修繕に必要な概算費用を記入すること。

ホ) 点検状況については写真を貼付し、異常がある場合には、それが把握できる写真を貼付した個票を作成すること。

ヘ) 点検は、外部からの目視による点検及び分解を伴う内部の目視点検のほか、点検用器具（テストハンマー、メガネスタ、マイクロメータ、シックネスゲージ、塗膜厚計等）を使用し簡易な給油脂を行った後、管理運転（全開全閉を行う総合操作の機能確認及び調整）を行うこと。

ト) 乙は、常に現場作業及び周囲の通行人の安全に留意し業務の実施に努めなければならない。

4) 点検取りまとめ要項

4-1. 点検箇所一覧表

番号順に河川名、箇所、施設名称、形状寸法、施設形式・材質、現在の操作委託者、連絡先、鍵・ハンドル、前回修繕業者・施行年月日を記入する。

4-2. 表紙

各施設ごとに位置図に記入されている番号、河川名、箇所、施設名称、形状寸法、施設形式・材質、現在の操作委託者、連絡先、前回修繕業者・施行年月日を記入する。

4-3. 位置図

地図により詳しい位置を示し添付する。

4-4. 状況写真

全景、遠景、扉体、巻き上げ機、分解状況、腐食状況ほか、異常状況が詳しくわかるものを添付する。特に分解時、内部の構造等に不具合が生じる場合には、ピンポール等でその箇所を示し、貼付した写真の横にその内容等を詳しく明記する。操作人の立会状況についても添付すること。

4-5. 塗装

塗装の点検項目及び内容については、別添の塗装点検要領により行うものとする。

4-6. 排水機場関連施設

蛭地川、打樋川、苧屋川、出島川排水機場関連施設については、長寿命化計画に基づき点検を実施するため、別紙点検項目表ローラゲート及び吐出ゲートについても点検を実施し、記入すること。

4-7. 点検結果

点検により異常が確認された場合には、その内容と修繕や部品の交換等に必要な費用を明記すること。

4-8. 優先順位

上記点検結果より、修繕等が必要な箇所については、その緊急性に順位をつけ A 緊急性は低いに対策が必要、B 1～2年以内に対策が必要、C 至急対策が必要の3

つに分類し、それぞれ表にまとめること。

4-9. その他

ネジ等はずして塗装がはがれた箇所は同色のペンキ等で補修しておくこと。

報告書は電子版2部及びA4紙ベースを3部提出すること。

位置図

No.

施設名	
水系名	
河川名	
位置	

位置図

写真

河川工作物個票

No. _____

水系名			河川名	
施設名			管理者名	
地先名				
施設管理区分	1. 河川管理施設 2. 許可工作物 3. 管理者不明			
設置年月日	昭和・平成	年	月	日
操作委託者	氏名		電話番号	
	住所			
鍵	種類・番号		保管場所	
	(使用箇所)			
ハンドル	口径・形		保管場所	
施設構造概要				
護岸	材質	コンクリート・ブロック・土羽・その他()		
樋門	門扉材質	鋼製		
	戸当り材質	鋼製+ステンレス		
	形状	2.5*2.5 (B*H)m		
	型式	スライド・ローラー・その他()		
フラップゲート	ゲート材質			
	戸当り材質			
	形状			
巻き上げ機	方式	電動・手動・エンジン		
		ラック・スピンドル		
		発動発電機(有・無) 自家発電装置(有・無)		
コンクリート構造物	材料	RC・無筋・ブロック・その他()		
	鉄筋径			
上屋	材質			
	構造			
安全施設	手摺り	有・無		
塗 装 (㎡)				
扉体		敷高		
戸当り		能力		
巻上機		集水灌漑面積		
手摺・階段				
管理橋				
操作台				
引込柱				
その他				
合計				
修 繕 概 要				
年 月 日				

点検記録表

樋門（水門）

整理 番号	No.
----------	-----

点検年月日

南総県（阿南）

点 検 項 目	状況及び原因（点検後の所見）	処 置	対策完了年月日
扉 体			
戸 当 り			
巻 上 機			
水 密			
手 摺			
管 理 橋			
軀 体			

整理番号

(樋門・スライドG・手動・ラック式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良・否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良・否	手摺塗装不可・錆
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
	水密ゴム	漏水	目視	良・否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良・否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良・否		
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良・否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	敷金物	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良・否	
	上・側部戸当り	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良・否	
	躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否	
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良・否	
		外観塗装状態	目視	良・否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良・否	
	ラック	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
		歯当り状況	目視	良・否	
		グリース塗布状態	目視	良・否	
	手動装置	変形、損傷	目視	良・否	
		ハンドル負荷の具合	試運転	良・否	
	ケーシング本体	油漏れ	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良・否	
	開度指示計	表示板の透視性	目視	良・否	
		指針の作動、表示の整合	試運転	良・否	
	自重降下 (ラック式のみ)	作動、振動、音響	試運転	良・否	
		ブレーキの具合	試運転	良・否	
アンカーボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否		
	機器と基礎の密着度	目視	良・否		

整理番号

(樋門・スライドG・電動・スピンドル式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良・否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良・否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
	水密ゴム	漏水	目視	良・否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良・否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
サイドローラ	摩耗、損傷、腐食、作動	目視・作動	良・否		
くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良・否		
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良・否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	敷金物	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良・否	
	上・側部戸当り	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否		
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良・否	
		外観塗装状態	目視	良・否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良・否	
	スピンドル	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
		歯当り状況	目視	良・否	
		グリース塗布状態	目視	良・否	
	電動機	電圧機	計測機器	良・否	
		電流値	計測機器	良・否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・指触	良・否	
		絶縁抵抗	計測機器	良・否	
		接地抵抗	計測機器	良・否	
	制限開閉機	上下限の検知作動	試運転	良・否	
		非常上限の検知作動	試運転	良・否	
	保護装置	過負荷の検知作動	試運転	良・否	
	電動、手動切替	作動	試運転	良・否	
	手動装置	変形、損傷	目視	良・否	
ハンドル負荷の具合		試運転	良・否		
ケーシング本体	油漏れ	目視	良・否		
ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良・否		

整理番号

(樋門・ローラ-G・電動・ラック式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良・否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良・否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	主ローラ	給油状態	目視	良・否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良・否	
	補助ローラ	給油状態	目視	良・否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良・否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
水密ゴム	漏水	目視	良・否		
	老化、摩耗、損傷、変形	目視	良・否		
ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否		
くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良・否		
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良・否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	側部戸当り 主、補助ローラレール	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
	取外し戸当り	変形、損傷、腐食	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否	
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良・否	
		外観塗装状態	目視	良・否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良・否	
	ラック	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
		歯当り状況	目視	良・否	
		グリース塗布状態	目視	良・否	
	電動機	電圧機	計測機器	良・否	
		電流値	計測機器	良・否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・指触	良・否	
		絶縁抵抗	計測機器	良・否	
		接地抵抗	計測機器	良・否	
制限開閉機	上下限の検知作動	試運転	良・否		
	非常上限の検知作動	試運転	良・否		
保護装置	過負荷の検知作動	試運転	良・否		
電動、手動切替	作動	試運転	良・否		

整理番号

(樋門・ローラーG・電動・油圧式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良・否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良・否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	ホルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	主ローラ	給油状態	目視	良・否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良・否	
	補助ローラ	給油状態	目視	良・否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良・否	
軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良・否		
水密ゴム	漏水	目視	良・否		
	老化、摩耗、損傷、変形	目視	良・否		
ゴム取付ホルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否		
くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良・否		
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良・否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	側部戸当り	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
	主、補助ローラーレール			良・否	
	取外し戸当り	変形、損傷、腐食	目視	良・否	
	ホルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否		
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良・否	
		外観塗装状態	目視	良・否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良・否	
	ラック	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
		歯当り状況	目視	良・否	
		グリース塗布状態	目視	良・否	
	電動機	電圧機	計測機器	良・否	
		電流値	計測機器	良・否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・過熱	良・否	
絶縁抵抗		計測機器	良・否		
接地抵抗		計測機器	良・否		

整理番号

(樋門・フラップG・手動・ウインチ式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良・否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良・否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	ホルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	主ローラ	給油状態	目視	良・否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良・否	
	補助ローラ	給油状態	目視	良・否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良・否	
軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良・否		
水密ゴム	漏水	目視	良・否		
	老化、摩耗、損傷、変形	目視	良・否		
ゴム取付ホルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否		
くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良・否		
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良・否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	側部戸当り			良・否	
	主、補助ローラレール	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
	取外し戸当り	変形、損傷、腐食	目視	良・否	
	ホルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否		
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良・否	
		外観塗装状態	目視	良・否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良・否	
	ラック	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
		歯当り状況	目視	良・否	
		グリース塗布状態	目視	良・否	
	電動機	電圧機	計測機器	良・否	
		電流値	計測機器	良・否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・過熱	良・否	
		絶縁抵抗	計測機器	良・否	
接地抵抗		計測機器	良・否		

整理番号

(樋門・フラップG・電動・ウインチ式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良・否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良・否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
水密ゴム	漏水	目視	良・否		
	老化、摩耗、損傷、変形	目視	良・否		
ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否		
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良・否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	敷金物	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良・否	
	上・側部戸当り	変形、損傷、摩耗、漏水	目視・スケール	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良・否	
躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否		
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良・否	
		外観塗装状態	目視	良・否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良・否	
	手動装置	変形、損傷	目視	良・否	
		ハンドル負荷の具合	試運転	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良・否	
アンカーボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否		
	機器と基礎の密着度	目視	良・否		

整理番号

(樋門・フラップG・自然開閉)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良・否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良・否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	主桁	たわみ、変形、損傷、 腐食、板厚の減少度	目視 目視・計測機器	良・否 良・否	
		スキンプレート	たわみ、変形、損傷 腐食、板厚の減少度	目視 目視・計測機器	良・否 良・否
	補助桁		たわみ、変形、損傷 腐食、板厚の減少度	目視 目視・計測機器	良・否 良・否
		水密ゴム	漏水 老化、摩耗、損傷、変形	目視 目視	良・否 良・否
	ゴム取付ボルト、ナット		緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否
	戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良・否
摩耗、変形、損傷、たわみ			目視・計測機器	良・否	
溶接部		割れ	目視	良・否	
側部戸当り 敷金物		摩耗、変形、損傷	目視・スケール	良・否	
ボルト、ナット類		緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否		

整理番号

(樋門・浮体起状G・自然開閉)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良・否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良・否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	主桁	たわみ、変形、損傷、 腐食、板厚の減少度	目視 目視・計測機器	良・否 良・否	
		スキンプレート	たわみ、変形、損傷 腐食、板厚の減少度	目視 目視・計測機器	良・否 良・否
	補助桁		たわみ、変形、損傷 腐食、板厚の減少度	目視 目視・計測機器	良・否 良・否
		水密ゴム	漏水 老化、摩耗、損傷、変形	目視 目視	良・否 良・否
	ゴム取付ボルト、ナット		緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否
	戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良・否
摩耗、変形、損傷、たわみ			目視・計測機器	良・否	
溶接部		割れ	目視	良・否	
側部戸当り 敷金物		摩耗、変形、損傷	目視・スケール	良・否	
ボルト、ナット類		緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否		

整理番号

(水門・ローラーG・電動・ラック式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
開閉装置	保護装置	過負荷の検知作動	試運転	良・否	
	電動・手動切替	作動	試運転	良・否	
	手動装置	変形、損傷	目視	良・否	
		ハンドル負荷の具合	試運転	良・否	
	ケーシング本体	油漏れ	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視	良・否	
	開度指示計	表示板の透視性	目視	良・否	
		指針の作動、表示の整合	試運転	良・否	
	油面計	油量、油の汚れ	目視	良・否	
	自重降下 (ラック式のみ)	作動、振動、音響	試運転	良・否	
		ブレーキの具合	試運転	良・否	
	アンカーボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視	良・否	
		機器と基礎の密着度	目視	良・否	
ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否		
くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良・否		
操作盤	操作盤全般	清掃状態	目視	良・否	
		塗装状態	目視	良・否	
		のぞき窓の透視性	目視	良・否	
		内部漏水	目視	良・否	
		扉の開閉作動	操作	良・否	
	アンカーボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
		機器と基礎の密着度	目視	良・否	
	電圧計	規定電圧値の作動表示	目視	良・否	
	電流計	規定電流値の作動表示	目視	良・否	
	表示灯	ランプ点滅	目視	良・否	
	開度計・受信器	作動、整合性	目視	良・否	
	押ボタン(レバー)	作動	操作	良・否	
	開閉器	作動	操作	良・否	
	リレー類	作動	操作	良・否	
	配線	被覆損傷、断線	計測機器	良・否	
		端子締付状態	計測機器	良・否	
		絶縁抵抗	計測機器	良・否	
設置抵抗		計測機器	良・否		

整理番号

(水門・ローラーG・電動・ワイヤーロープ式)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
全般	各部	清掃状態	目視	良・否	
	塗装	損傷、劣化	目視	良・否	
扉体	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形、片吊り	目視・計測機器	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	主桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	スキンプレート	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	補助桁	たわみ、変形、損傷	目視	良・否	
		腐食、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	主ローラ	給油状態	目視	良・否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良・否	
	補助ローラ	給油状態	目視	良・否	
		摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
		作動、異常音	目視・聴音・作動	良・否	
	軸受類	摩耗、損傷、腐食	目視	良・否	
水密ゴム	漏水	目視	良・否		
	老化、摩耗、損傷、変形	目視	良・否		
ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否		
くさび金物	変形、損傷、摩耗	目視	良・否		
戸当り	構造全体	障害物、堆積物	目視	良・否	
		変形、損傷、腐食	目視・スケール	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	側部戸当り 主、補助ローラーレール	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
	取外し戸当り	変形、損傷、腐食	目視	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
躯体コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否		
開閉装置	開閉機全般	清掃状態	目視	良・否	
		外観塗装状態	目視	良・否	
		振動、異常音、異臭、発煙等	目視・聴音	良・否	
	ワイヤーロープ	変形、損傷、摩耗	目視・スケール	良・否	
		歯当り状況	目視	良・否	
		グリース塗布状態	目視	良・否	
	電動機	電圧機	計測機器	良・否	
		電流値	計測機器	良・否	
		振動、音響、過熱	目視・聴音・指触	良・否	
		絶縁抵抗	計測機器	良・否	
		接地抵抗	計測機器	良・否	
	制限開閉機	上下限の検知作動	試運転	良・否	
非常上限の検知作動		試運転	良・否		
保護装置	過負荷の検知作動	試運転	良・否		
電動、手動切替	作動	試運転	良・否		

整理番号

(水門・マイターG・自然開閉)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
受配電・ 負荷設備	設備全般	外観点検・清掃状況	目視	良・否	
		異音、異臭、発煙等	目視・聴音	良・否	
	引込装置	外観	目視	良・否	
		操作機構・開閉機類	目視・操作	良・否	
		配線接続部	目視・指触	良・否	
	配管・配線・ケーブル	外観点検・清掃状況	目視	良・否	
		ケーブル露出	目視	良・否	
		ヘッド端末	目視・指触	良・否	
	設置装置	接地接続部	目視・指触	良・否	
		機器外箱の設地	目視・指触	良・否	
	その他	小動物侵入の痕跡	目視	良・否	
		機器据付状態	目視	良・否	
	測定等	絶縁抵抗	計測機器	良・否	
		接地抵抗	計測機器	良・否	
操作制御 ・ 計測設備	設備全般	外観点検・清掃状況	目視	良・否	
		表示ランプ・ヒューズ類	目視・聴音	良・否	
		異音、異臭、発煙等	目視	良・否	
	バイパスバルブ	計測器の指示置	目視	良・否	
	盤内各部	外観	目視	良・否	
		湿気・塵埃	目視	良・否	
		電線被覆・接続部	目視・指触	良・否	
	機能確認	操作・制御機能	操作	良・否	
		鳴道試験・警報表示	目視・操作	良・否	
	開度計	外観	目視・聴音	良・否	
		接続部端子	目視・指触	良・否	
		水位比較	目視	良・否	
	設置装置	接地接続部	目視・指触	良・否	
		機器外箱の設地	目視・指触	良・否	
	その他	小動物侵入の痕跡	目視	良・否	
		機器据付状態	目視	良・否	
	測定等	絶縁抵抗	計測機器	良・否	
		接地抵抗	計測機器	良・否	
電圧・電流		計測機器	良・否		

整理番号

(陸間・片開G・手動)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
扉体	全般	清掃状態	目視	良・否	
		相対寸法	目視	良・否	
	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形	目視・計測機器	良・否	
	主桁	変形、損傷	目視	良・否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
		水抜き穴	目視	良・否	
	スキンプレート	変形、損傷	目視	良・否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	縦桁	変形、損傷	目視	良・否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	水密ゴム	漏水	目視	良・否	
		老化、摩耗、損傷、変形	目視	良・否	
	ゴム取付ホルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
溶接部	割れ	目視	良・否		
軸受	作動、摩耗、給油、損傷	目視	良・否		
締付金具	作動、変形、たわみ、給油	目視	良・否		
戸当り	全般	清掃状態	目視	良・否	
	下部戸当り	摩耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良・否	
	側部戸当り	摩耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良・否	
	ホルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	休止金具	作動、損傷、摩耗	目視	良・否	
	軸受	作動、摩耗、給油、損傷	目視	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	締付ボックス	損傷、変形、たわみ、摩耗	目視	良・否	
	コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否	

整理番号

(陸間・引扉・手動)

分類	点検項目	点検内容	判定方法	判定	備考(否定の内容等)
扉体	全般	清掃状態	目視	良・否	
		相対寸法	目視	良・否	
	構造全体	振動、異常音	目視・聴音	良・否	
		たわみ、変形	目視・計測機器	良・否	
	主桁	変形、損傷	目視	良・否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
		水抜き穴	目視	良・否	
	スキンプレート	変形、損傷	目視	良・否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	縦桁	変形、損傷	目視	良・否	
		たわみ、板厚の減少度	目視・計測機器	良・否	
	水密ゴム	漏水	目視	良・否	
		老化、磨耗、損傷、変形	目視	良・否	
	ゴム取付ボルト、ナット	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	車輪	作動、損傷	目視	良・否	
		磨耗	スケール	良・否	
	車輪軸受	作動、損傷	目視	良・否	
		磨耗	スケール	良・否	
	ガイドローラ	作動、損傷	目視	良・否	
磨耗		スケール	良・否		
ガイドローラ軸受	作動、損傷	目視	良・否		
	磨耗	スケール	良・否		
上下装置	作動、損傷	目視・聴音	良・否		
	磨耗	スケール	良・否		
締付金具	作動、変形、たわみ、給油	目視	良・否		
戸当り	全般	清掃状態	目視	良・否	
	下部戸当り	磨耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良・否	
	ガイドレール及サポート	磨耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良・否	
	側部戸当り	磨耗、変形、損傷、たわみ	目視・計測機器	良・否	
	ボルト、ナット類	緩み、損傷、脱落	目視・テストハンマ	良・否	
	休止金具	作動、損傷、磨耗	目視	良・否	
	溶接部	割れ	目視	良・否	
	締付ボックス	損傷、変形、たわみ、磨耗	目視	良・否	
コンクリート	劣化、損傷、亀裂	目視	良・否		

塗 装 点 検 要 領

項 目	ランク	内容	間隔	方法	良否の判定方法及び基準																																													
桁 材 スキプレート がね金物 その他	A ～ D を 記 入 す る	発 錆	1 / 年	目 視	判定基準により塗膜の劣化程度を判定する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発 錆</th> <th>ふくれ</th> <th>はくり</th> <th>亀 裂</th> <th>脆 化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>な し</td> <td>な し</td> <td>な し</td> <td>な し</td> <td>な し</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>僅 か あ り</td> <td>僅 か あ り</td> <td>僅 か あ り</td> <td>僅 か あ り</td> <td>僅 か あ り</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>多 い</td> <td>多 い</td> <td>多 い</td> <td>多 い</td> <td>多 い</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>著 しい</td> <td>著 しい</td> <td>著 しい</td> <td>著 しい</td> <td>著 しい</td> </tr> </tbody> </table> 塗替の範囲は塗替基準による。 (塗替基準) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>塗膜の状態</th> <th>塗替塗装の範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>異常なし</td> <td>塗替の必要なし</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>上塗り塗装だけが劣化している。</td> <td>上塗り塗装の塗替</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>上塗りだけの劣化でなく一部下塗り塗膜も劣化している。</td> <td>上塗り，下塗り塗膜とも塗替。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>上塗り，下塗り塗膜ともに劣化している。</td> <td>同 上</td> </tr> </tbody> </table>		発 錆	ふくれ	はくり	亀 裂	脆 化	A	な し	な し	な し	な し	な し	B	僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り	C	多 い	多 い	多 い	多 い	多 い	D	著 しい	著 しい	著 しい	著 しい	著 しい		塗膜の状態	塗替塗装の範囲	A	異常なし	塗替の必要なし	B	上塗り塗装だけが劣化している。	上塗り塗装の塗替	C	上塗りだけの劣化でなく一部下塗り塗膜も劣化している。	上塗り，下塗り塗膜とも塗替。	D	上塗り，下塗り塗膜ともに劣化している。	同 上
			発 錆			ふくれ	はくり	亀 裂	脆 化																																									
		A	な し			な し	な し	な し	な し																																									
		B	僅 か あ り			僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り	僅 か あ り																																									
C	多 い	多 い	多 い	多 い		多 い																																												
D	著 しい	著 しい	著 しい	著 しい		著 しい																																												
	塗膜の状態	塗替塗装の範囲																																																
A	異常なし	塗替の必要なし																																																
B	上塗り塗装だけが劣化している。	上塗り塗装の塗替																																																
C	上塗りだけの劣化でなく一部下塗り塗膜も劣化している。	上塗り，下塗り塗膜とも塗替。																																																
D	上塗り，下塗り塗膜ともに劣化している。	同 上																																																
ふくれ	1 / 年																																																	
はくり	1 / 年																																																	
亀 裂 脆 化	1 / 年																																																	

- 1) 発錆状態が劣化程度のC, Dになった場合、可能な限り早急に塗替を行わなければならない。
- 2) 部分補修の場合は、据付時の塗装仕様を十分調査して、塗料選定を誤らないようにする。
- 3) 塗替の時期は、全面的に発錆を見てからでは遅いので、このような状態になる以前に塗替の時期・方法を決めること。

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 1

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考	
				待機系設備			
				年点検	判定		
				基本周期 1年毎			
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
		塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E			
扉体	構造全体	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		片吊り	異常な傾き(片吊り)がないこと	E			
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に 応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に 応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	クサビ	損傷	損傷がないこと	E			
		扉体圧着状態	水密ゴムと戸当りにすきまがないこと	E			
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	部 (スライドゲート)	摺動板	摩耗	摩耗がないこと	E		
			損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)			腐食(孔食)がないこと	E			
摺動状態			異常なく開閉すること	D			
サイドシュー	摩耗	摩耗がないこと	E				
	損傷	損傷がないこと	E				
支 承 部 (ローラゲート)	主ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
		回転状況	回転すること	D			
	補助ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
給油状態		油が供給されていること、油の劣化がないこと	E				
	回転状況	回転すること	D				
金 吊 物 り	吊り金物、吊りピン	損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
水 密 部	水密ゴム	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		劣化	劣化がないこと	E			
		漏水	機能に支障がないこと	E			
	ゴム押え板	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
特記事項							

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 2

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
		塗装	損傷 劣化	損傷がないこと 発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E E	
取外し戸当り(スライドゲート)	レール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	補助レール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
取外し戸当り(ローラゲート)	主ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	補助ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
埋設部	底部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	上部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
コンクリート部	コンクリートの損傷	損傷がないこと	E			
	コンクリートの漏水	機能に支障がないこと	E			
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 3

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
				基本周期 1年毎		
開閉装置全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
劣化		発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E			
構造部	構造全体	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
	架台	たわみ	たわみがないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)		腐食(孔食)がないこと	E			
動力部	電動機	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	M		温度計により確認
		電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み
		電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること	M		絶縁抵抗計
		内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施		
	内燃機関	始動性	円滑に始動できること	D		
		振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		漏油	漏油がないこと	E		
		燃料油量	油面計の規定内であること	E		
		燃料劣化	ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E		
		冷却水量	規定内の量であること	E		
		冷却水劣化	ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E		
潤滑油量		油量計の規定内であること	E			
潤滑油量劣化		ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E			
エレメント目詰まり(汚れ)		目詰まり、ひどい汚れがないこと	E			
Vベルト弛み		適正な張りがあること	H			
Vベルト損傷		損傷がないこと	E			
排気管損傷	断熱材、配管に損傷がないこと	E				
手動装置	バッテリー液量	液量が規定内であること	E			
	バッテリー比重	比重が規定内であること	M		テスターで測定	
	作動状況	円滑に開閉操作ができること	D			
制動部	制動機構(セルフロック)	操作力	操作力が100N以下であること	M		パネ計りで計測
		作動状況	扉体が降下しないこと	D		
	遠心ブレーキ(ラック式)	外観	発錆がないこと	E		
		ライニングの磨耗	ライニング厚1mm以上のこと	M		ノギス、スケール等により測定する。
	作動状況	自重降下すること	D			
	自重降下速度	6m/min以下または開閉装置の仕様とおりのこと	M		開度計の変化をストップウォッチで測定。	
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 4

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考	
				待機系設備			
				年点検	判定		
				基本周期 1年毎			
減速装置	本体(減速機)	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	H			
		漏油	漏油がないこと	E			
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E			
		潤滑油劣化	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと	E			
		内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施			
動力伝達部	切替装置	作動状況	スムーズに切り替えられること	D			
	連動軸	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
	軸継手	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		芯振れ	異常な芯振れがないこと	必要に応じて実施			
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
		内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施			
	扉体駆動部	スピンドル	変形、曲り	変形、曲りがないこと	E		
			損傷	損傷がないこと	E		
磨耗			磨耗がないこと	M		ノギスにより測定する。	
油切れ			ネジ部にグリースが付着していること	E			
扉体駆動部	ラックピン	磨耗	開閉装置メーカーに許容値を確認のこと	E, M			
		給油状態	ラックピンにグリースが付着していること	E, H			
	ラック棒	変形	変形がないこと	E			
		異常音	異常音がないこと	S			
保護装置	過負荷防止機構	作動状況	正常に作動すること	D			
	リミットスイッチ	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D			
開度計	機械式	作動状況	実掲程と指針表示が合致していること	D			
		盤面の曇り	表示窓が透明で、視認に支障がないこと	E			
中間振止	中間振止	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		スピンドルとの干渉	スピンドルと干渉しないこと	E			

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 5

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
				基本周期 1年毎		
全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	塗装	損傷	傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
外観	水滴の付着	水滴が付着していないこと	E			
油圧シリンダ	ピストンロッド	スティックスリップ、ビビリ等の振動、異音	異音、異常が感じられる振動がないこと	H, S		
		すべり面(めっき)の損傷	油漏れが生じるような損傷がないこと	E		
		ロッド部の発錆	発錆がないこと 発錆により油漏れが発生していないことを確認する	E		
		ロッドパッキン部の油漏れ	油が垂れていないこと パッキンを締め付けても油漏れがなくなる場合にはその量を計測する	E		
		曲がり	目視で曲がりが生じていないこと 曲がりがある場合にはストレッチ等でその量を計測する	E, M		ストレッチ等により測定
	キャップ、ヘッドカバー	ボルトナットの弛み	油漏れが生じていないこと 弛みがないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	ゲート操作に支障がないこと 目安:50mm/24hr	M		
	配管接続部	ボルトナットの弛み	弛みがないこと 油漏れが生じていないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
油圧ユニット	油圧ユニット外面	外面の水滴、塵埃ほこり	ユニット外面に水滴、塵埃、ほこり等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		銘板類の損傷	銘板類の脱落、汚損がないこと	E		
	油漏れ	油圧ユニット設置部	油圧ユニット設置床面に、油溜りや油が滴下した形跡がないこと	E		
		油タンク部	油タンク上面に油溜りがないこと	E		
		油圧機器、配管	油圧機器や配管から油が垂れていないこと	E		
	油タンク	油面	油タンクの油面が油面計に印された正常な範囲にあること	E		
		油温	点検時、通常のゲート開閉運転を行い、作動油の温度上昇が30℃以下であることを確認する	M		温度計により測定
	油圧発生装置	電流値	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること	M		電流計にて測定
		電圧値	作動時の電圧降下が±10%以下であること	M		電圧計にて測定
		異常騒音	有害な異常音がないこと	S		
		振動	有害な振動がないこと	H		
		発熱	異常な温度上昇がないこと	H		
		ポンプ取付ボルト配管との接続ボルト	取付ボルト、配管との接続ボルトに弛みが生じていないこと	E, H		
	油漏れ	油面計取付部、ドレンバルブからの油漏れがないこと	E			
油圧ユニット	付属設備	端子箱	端子箱の内部に水分や塵埃、ほこり等の付着がないこと 端子箱内面や結線部が錆付いていないこと 端子接続部に弛みを生じていないこと	E		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 6

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
油圧配管	配管部	管継手部漏油(ニップル、ユニオンソケットなど)	ウェスで清掃し、新たに油がにじみ出さないこと	E		
		管溶接部の割れ(ソケット、管固定部など)	割れないこと	E		
		配管の割れ	割れないこと	E		
		管汚れ	管の汚れのないこと	E		
		塗装	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
作動油	作動油	分析	色、粘度変化率、全酸化、水分、汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと	M		専門検査機関に依頼する。
扉体 休止装置	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
	油圧シリンダ内蔵自動着脱式休止装置	油漏れ	油圧シリンダヘッド部が油で漏れていなければ良い	E		
		作動確認	ロッドが所定量移動すれば良い 休止操作が円滑に行え、正常な休止状態が確保できること	M		移動量をメジャーで測定
		リミットスイッチ作動確認	機側操作盤の表示ランプが点灯すれば良い	D		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

吐出ゲート(ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機)

No. 7

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
				基本周期 1年毎		
機側操作盤全般	盤全体	清掃・塗装状態	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗膜の割れ、腐食がないこと	E		
		破損	破損がないこと	E		
		塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと	E		
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと	E, H		
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること	M		絶縁抵抗計により測定
	機器、計器類共通	汚れ	汚れがないこと	E		
		変色	変色がないこと	E		
端子のゆるみ		端子のゆるみがないこと	E, H			
異常音		異常音がないこと	S			
計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み
		0点確認	ゲート停止時に0点を指していること	E		
	電圧計	電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく動作すること	D		
		異常音	異常音、振動がないこと	D, S		
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと	D, E		
	漏電継電器	動作テスト	テストボタンを押して動作すること	D		
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと	E, H		
スペースヒータ(サーモスイッチ)	動作テスト	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し動作を確認する。	D			
リレー類	補助リレー	動作テスト	異常音、振動がないこと	D, S, E		
		異常音	異常音がないこと	D, S, H		
	3Eリレー	動作テスト	テストボタンを押して動作すること	D		
		設定値確認	図面通りの設定値であること	E		
サーマルリレー	動作テスト	テストボタンを押して動作すること	D			
タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること	E			
押釦	押釦スイッチ	動作テスト	開、閉、停が的確に動作すること	D, E		
表示灯	表示灯	ランプテスト	点灯すること	D, E		
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること	D		
指示計	開度指示計	指示	実際掲程(または発信機)と指示値が合致していること、セルシン式は発信器の指示値に応動していること	D, E, M		開度指示計の読み
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと	E		
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと	E, H		
	端子台	腐食	発錆がないこと	E		
	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと	E, H		
配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと	E			
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート/ワイヤロープウインチ式開閉機

No. 1

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベル I		備考	
				待機系設備			
				年点検	判定		
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	塗装	損傷	損傷がないこと	E			
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E			
扉体	構造全体	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		片吊り	異常な傾き(片吊り)がないこと	E			
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
	主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	ボルト、ナット	溶接部の割れ	割れがないこと	E			
		ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	支承部(ローラ部)	主ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E		
			損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)			腐食(孔食)がないこと	E			
給油状態			油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
回転状況			回転すること	D			
補助ローラ、軸、軸受		摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
扉体付シーブ	シーブ、シーブ軸、軸受	給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
		回転状況	回転すること	D			
		摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
水密部	水密ゴム	給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
		回転状況	回転すること	D			
		変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
	ゴム押え板	劣化	劣化がないこと	E			
		漏水	機能に支障がないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／ワイヤロープウインチ式開閉機

No. 2

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
給油装置（支承部）	給油ポンプ	損傷	損傷がないこと	E		
		作動状況	適正な圧力が発生すること	D		
		油量	適量で乳白色化していないこと	E		
	給油配管	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		漏油	漏油がないこと	E		
	分配弁	損傷	損傷がないこと	E		
作動状況		作動すること	D			
戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
取外し戸当り	主ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	補助ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
埋設部	底部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	上部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
	コンクリート部	コンクリートの損傷	損傷がないこと	E		
		コンクリートの漏水	機能に支障がないこと	E		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート/ワイヤロープウインチ式開閉機

No. 3

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
開閉装置全般	清掃状態	汚れ、漏油	ひどい汚れ、油脂の付着、漏油がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
構造部	構造全体	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
	フレーム	たわみ	たわみがないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
動力部	主電動機	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	全揚程を1往復運転で温度上昇40°以下。	M		温度計により確認
		電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み
		電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
	予備電動機	絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること	M		絶縁抵抗計
		振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	全揚程を1往復運転で温度上昇40°以下。	M		温度計により確認
		電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み
	内燃機関	電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること	M		絶縁抵抗計により測定
		始動性	円滑に始動できること	D		
		振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		漏油	漏油がないこと	E		
燃料油量		油面計の規定内であること	E			
燃料劣化		ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E			
冷却水量		規定内の量であること	E			
冷却水劣化		ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E			
内燃機関	潤滑油量	油量計の規定内であること	E			
	潤滑油量劣化	ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E			
	エレメント目詰まり(汚れ)	目詰まり、ひどい汚れがないこと	E			
	Vベルト弛み	適正な張りがあること	H			
	Vベルト損傷	損傷がないこと	E			
	排気管損傷	断熱材、配管に損傷がないこと	E			
	バッテリー液量	液量が規定内であること	E			
	バッテリー比重	比重が規定内であること	M		テスターで測定	
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート/ワイヤロープウインチ式開閉機

No. 4

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
				基本周期 1年毎		
制動部	電磁制動機 電動油圧 押上式制動機	作動状況	確実に作動し、瞬時に停止すること	D		
		ライニングのすきま	適正なすきまが確保されていること	M		すきまゲージにより測定
		ライニングの摩耗	異常な摩耗、偏摩耗がないこと	M		ノギスにより計測
		ドラムの損傷	損傷がないこと	E		
		制動部の清掃状態	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		漏油	漏油がないこと	E		
		絶縁油糧	油面計の規定内であること	E		
		絶縁油劣化	ひどい濁りがなく、乳白化していないこと	E		
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること	M		絶縁抵抗計により測定
減速装置	減速機	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	全揚程を1往復運転で温度上昇50°以下。	M		温度計により確認
		漏油	漏油がないこと	E		
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E		
		潤滑油劣化	ひどい濁りがなく、乳白化していないこと	E		
	ドラムギヤ ピニオン 中間ギヤ	異常音	異常音がないこと	S		
		歯面の損傷	損傷がないこと	E		
		歯当り	PCD付近で歯筋方向に70%以上。理想は80%。	M		スケール、光明丹により計測
		バックラッシュ	JIS4級程度の範囲が歯厚の20%以下。最小値がモジュールの4%以上。	M		すきまゲージ或いは鉛線を押しつぶし計測
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
動力伝達部	切替装置	作動状況	スムーズに切り替えられること	D		
		振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	全揚程を1往復運転で温度上昇50°以下。	M		温度計により確認
		漏油	漏油がないこと	E		
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E		
		潤滑油	ひどい濁りがなく、乳白化していないこと	E		
	手動装置	作動状況	スムーズに切り替えられ、手動操作が行えること	D		
		振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E		
		潤滑油	ひどい濁りがなく、乳白化していないこと	E		
		連動軸	変形	変形がないこと	E	
			損傷	損傷がないこと	E	
軸受	振動	異常振動がないこと	H			
	異常音	異常音がないこと	S			
	温度上昇	全揚程を1往復運転で温度上昇40°以下。	M		温度計により確認	
	芯振れ	異常な芯振れがないこと	必要に応じて実施			
	給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
	磨耗	磨耗がないこと	E			
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート/ワイヤロープウインチ式開閉機

No. 5

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
動力伝達部	たわみ軸継手 (歯車形軸継手) (ローラチェーン軸継手)	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		芯振れ	異常な芯振れがないこと	必要に応じ実施		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
扉体駆動部	ドラム	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		磨耗	ロープ溝部に異常な磨耗がないこと	E		
	ドラム軸	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
	ドラムロープ端末	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E		
	シーブ、軸、軸受	磨耗	磨耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
	ワイヤロープ	回転状況	正常に回転すること	D		
		ごみ、異物の付着	ごみ、砂塵等がロープに付着していないこと	E		
		変形	線の不規則な飛出し、部分的な籠状、キンク等がないこと	E		
		発錆	発錆がないこと	E		
		磨耗	異常な磨耗がないこと。ノギスにより計測。JIS(右欄)参照	M		JIS規格(G3525、G3546)
		素線切れ	異常な素線切れがないこと	E		
給油状態		油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
保護装置	ワイヤロープ端末調整装置	ロックナット	ゆるみがないこと	E		
		ソケット	割りピンが外れていないこと	E		
		ロープ長さ	閉時にロープのゆるみが、左右同一であること	E		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
	制限開閉機(カウンタ式)(遊星歯車式)	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D		
		変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
	直動形リミットスイッチ	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D		
		変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
休止装置	休止装置	作動状況	休止操作が円滑に行えること	D		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
開度計	機械式	作動状況	実掲程と指針表示が合致していること	D		
		盤面の曇り	表示窓が透明で視認に支障がないこと	E		
給油装置(開閉機)	給油ポンプ	損傷	損傷がないこと	E		
		作動状況	適正な圧力が発生すること	D		
		油量	適量で乳白色化していないこと	E		
	給油配管	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		漏油	漏油がないこと	E		
		分配弁	損傷	損傷がないこと	E	
		作動状況	作動すること	D		
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート/ワイヤロープウインチ式開閉機

No. 6

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
				基本周期 1年毎		
機側操作盤全般	盤全体	清掃・塗装状態	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗膜の割れ、腐食がないこと	E		
		破損	破損がないこと	E		
		塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと	E		
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと	E, H		
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること	M		絶縁抵抗計により測定
	機器、計器類共通	汚れ	汚れがないこと	E		
		変色	変色がないこと	E		
		端子のゆるみ	端子のゆるみがないこと	E, H		
		異常音	異常音がないこと	S		
計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み
		0点確認	ゲート停止時に0点を指していること	E		
	電圧計	電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく動作すること	D		
		異常音	異常音、振動がないこと	D, S		
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと	D, E		
	漏電継電器	動作テスト	テストボタンを押して動作すること	D		
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと	E, H		
	スペースヒータ(サーモスイッチ)	動作テスト	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し動作を確認する。	D		
リレー類	補助リレー	動作テスト	異常音、振動がないこと	D, S, E		
		異常音	異常音がないこと	D, S, H		
	3Eリレー	動作テスト	テストボタンを押して動作すること	D		
		設定値確認	図面通りの設定値であること	E		
	サーマルリレー	動作テスト	テストボタンを押して動作すること	D		
タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること	E			
押釦表示灯	押釦スイッチ	動作テスト	開、閉、停が的確に作動すること	D, E		
	表示灯	ランプテスト	点灯すること	D, E		
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること	D		
指示計	開度指示計	指示	実際掲程(または発信機)と指示値が合致していること、セルシ式は発信器の指示値に応動していること	D, E, M		開度指示計の読み
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと	E		
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと	E, H		
	端子台	腐食	発錆がないこと	E		
	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと	E, H		
配管	配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと	E		
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／油圧式開閉機

No. 1

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考	
				待機系設備			
				年点検 基本周期 1年毎	判定		
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
	塗装	損傷	損傷がないこと	E			
劣化		発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E				
扉体	構造全体	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		片吊り	異常な傾き(片吊り)がないこと	E			
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
	主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	溶接部の割れ	割れ	割れがないこと	E			
		ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H			
		損傷	損傷がないこと	E			
	ボルト、ナット	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		主ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E		
			損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと		E				
給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと		E				
回転状況	回転すること		D				
補助ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E				
	損傷	損傷がないこと	E				
	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E				
	給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E				
	回転状況	回転すること	D				
扉体付シーブ	摩耗	摩耗がないこと	E				
	損傷	損傷がないこと	E				
	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E				
	給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E				
	回転状況	回転すること	D				
水密部	水密ゴム	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		劣化	劣化がないこと	E			
	ゴム押え板	漏水	機能に支障がないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
損傷	損傷	損傷がないこと	E				

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／油圧式開閉機

No. 2

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判定	
給油装置（支承部）	給油ポンプ	損傷	損傷がないこと	E		
		作動状況	適正な圧力が発生すること	D		
		油量	適量で乳白色化していないこと	E		
	給油配管	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		漏油	漏油がないこと	E		
	分配弁	損傷	損傷がないこと	E		
作動状況		作動すること	D			
戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
取外し戸当り	主ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	補助ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
埋設部	底部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
	上部戸当り	溶接部の割れ	割れがないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
	コンクリート部	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
		コンクリートの損傷 コンクリートの漏水	損傷がないこと 機能に支障がないこと	E E		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／油圧式開閉機

No. 3

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	塗装	損傷	傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
外観	水滴の付着	水滴が付着していないこと	E			
油圧シリンダ	ピストンロッド	スティックスリップ、ビビリ等の振動、異音	異音、異常が感じられる振動がないこと	H, S		
		すべり面(めっき)の損傷	油漏れが生じるような損傷がないこと	E		
		ロッド部の発錆	発錆がないこと 発錆により油漏れが発生していないことを確認する	E		
		ロッドパッキン部の油漏れ	油が垂れていないこと パッキンを締め付けても油漏れがなくなる場合にはその量を計測する	E		
		曲がり	目視で曲がりが生じていないこと 曲がりがある場合には ストレッチ等 でその量を計測する	E, M		ストレッチ等により測定
	キャップ、ヘッドカバー	ボルトナットの弛み	油漏れが生じていないこと 弛みがないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	ゲート操作に支障がないこと 目安:50mm/24hr	M		
	配管接続部	ボルトナットの弛み	弛みがないこと 油漏れが生じていないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
油圧ユニット	油圧ユニット外面	外面の水滴、塵埃ほこり	ユニット外面に水滴、塵埃、ほこり等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		銘板類の損傷	銘板類の脱落、汚損がないこと	E		
	油漏れ	油圧ユニット設置部	油圧ユニット設置床面に、油溜りや油が滴下した形跡がないこと	E		
		油タンク部	油タンク上面に油溜りがないこと	E		
		油圧機器、配管	油圧機器や配管から油が垂れていないこと	E		
	油タンク	油面	油タンクの油面が油面計に印された正常な範囲にあること	E		
		油温	点検時、通常のゲート開閉運転を行い、作動油の温度上昇が30℃以下であることを確認する	M		温度計により測定
	油圧発生装置	電流値	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること	M		電流計にて測定
		電圧値	作動時の電圧降下が±10%以下であること	M		電圧計にて測定
		異常騒音	有害な異常音がないこと	S		
		振動	有害な振動がないこと	H		
		発熱	異常な温度上昇がないこと	H		
		ポンプ取付ボルト配管との接続ボルト	取付ボルト、配管との接続ボルトに弛みが生じていないこと	E, H		
	油漏れ	油面計取付部、ドレンバルブからの油漏れがないこと	E			
油圧ユニット	付属設備	端子箱	端子箱の内部に水分や塵埃、ほこり等の付着がないこと 端子箱内面や結線部が錆付いていないこと 端子接続部に弛みを生じていないこと	E		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／油圧式開閉機

No. 4

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
油圧配管	配管部	管継手部漏油(ニップル、ユニオンソケットなど)	ウェスで清掃し、新たに油がにじみ出さないこと	E		
		管溶接部の割れ(ソケット、管固定部など)	割れないこと	E		
		配管の割れ	割れないこと	E		
		管汚れ	管の汚れのないこと	E		
		塗装	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
作動油	作動油	分析	色、粘度変化率、全酸化、水分、汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと	M		専門検査機関に依頼する。
扉体休止装置	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
	油圧シリンダ内蔵自動着脱式休止装置	油漏れ	油圧シリンダヘッド部が油で漏れていなければ良い	E		
		作動確認	ロッドが所定量移動すれば良い 休止操作が円滑に行え、正常な休止状態が確保できること	M		移動量をメジャーで測定
		リミットスイッチ作動確認	機側操作盤の表示ランプが点灯すれば良い	D		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラゲート／油圧式開閉機

No. 5

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
機側操作盤全般	盤全体	清掃・塗装状態	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗膜の割れ、腐食がないこと	E		
		破損	破損がないこと	E		
		塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと	E		
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと	E, H		
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること	M		絶縁抵抗計により測定
	機器、計器類 共通	汚れ	汚れがないこと	E		
		変色	変色がないこと	E		
		端子のゆるみ	端子のゆるみがないこと	E, H		
		異常音	異常音がないこと	S		
	計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M	
0点確認			ゲート停止時に0点を指していること	E		
	電圧計	電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく作動すること	D		
		異常音	異常音、振動がないこと	D, S		
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと	D, E		
	漏電継電器	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D		
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと	E, H		
	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し動作を確認する。	D		
リレー類	補助リレー	作動テスト	異常音、振動がないこと	D, S, E		
		異常音	異常音がないこと	D, S, H		
	3Eリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D		
		設定値確認	図面通りの設定値であること	E		
サーマルリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D			
タイ	タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること	E		
押釦	押釦スイッチ	作動テスト	開、閉、停が的確に作動すること	D, E		
表示灯	表示灯	ランプテスト	点灯すること	D, E		
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること	D		
指示計	開度指示計	指示	実際掲程（または発信機）と指示値が合致していること、セルシン式は発信器の指示値に応動していること	D, E, M		開度指示計の読み
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと	E		
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと	E, H		
	端子台	腐食	発錆がないこと	E		
	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと	E, H		
配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと	E			
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機

No. 1

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベル I		備考	
				待機系設備			
				年点検	判定		
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
		塗装	損傷	損傷がないこと	E		
扉体	構造全体	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		片吊り	異常な傾き(片吊り)がないこと	E			
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	主桁、補助桁	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	クサビ	溶接部の割れ	割れがないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
	ボルト、ナット	扉体圧着状態	水密ゴムと戸当りにすきまがないこと	E			
		ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H			
		損傷	損傷がないこと	E			
	部(スライドゲート)	摺動板	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
			摺動状態	異常なく開閉すること	D		
			損傷	損傷がないこと	E		
サイドシュー		摩耗	摩耗がないこと	E			
	損傷	損傷がないこと	E				
支承部(ローラゲート)	主ローラ、軸、軸受	摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
	補助ローラ、軸、軸受	回転状況	回転すること	D			
		摩耗	摩耗がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
金吊り	吊り金物、吊りピン	給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E			
		回転状況	回転すること	D			
	水密部	水密ゴム	損傷	損傷がないこと	E		
			劣化	劣化がないこと	E		
漏水	機能に支障がないこと		E				
ゴム押え板	変形	変形がないこと	E				
	損傷	損傷がないこと	E				
特記事項							

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機

No. 2

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	塗装	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
		損傷 劣化	損傷がないこと 発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
取外し戸当り（スライドゲート）	レール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	補助レール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
取外し戸当り（ローラゲート）	主ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	補助ローラレール	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
埋設部	底部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	上部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
コンクリート部	コンクリートの損傷	損傷がないこと	E			
	コンクリートの漏水	機能に支障がないこと	E			

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機

No. 3

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解 判定方法	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
開閉装置全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
劣化		発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E			
構造部	構造全体	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
	架台	たわみ	たわみがないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)		腐食(孔食)がないこと	E			
動力部	電動機	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	M		温度計により確認
		電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み
		電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること	M		絶縁抵抗計
	内燃機関	内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施		
		始動性	円滑に始動できること	D		
		振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		漏油	漏油がないこと	E		
		燃料油量	油面計の規定内であること	E		
		燃料劣化	ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E		
		冷却水量	規定内の量であること	E		
		冷却水劣化	ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E		
		潤滑油量	油量計の規定内であること	E		
		潤滑油量劣化	ひどい濁りが無く、乳白色化していないこと	E		
		エレメント目詰まり(汚れ)	目詰まり、ひどい汚れがないこと	E		
		Vベルト弛み	適正な張りがあること	H		
		Vベルト損傷	損傷がないこと	E		
排気管損傷	断熱材、配管に損傷がないこと	E				
手動装置	バッテリー液量	液量が規定内であること	E			
	バッテリー比重	比重が規定内であること	M		テスターで測定	
制動部	制動機構(セルフロック)	作動状況	扉体が降下しないこと	D		
		遠心ブレーキ(ラック式)	外観	発錆がないこと	E	
	遠心ブレーキ(ラック式)	ライニングの磨耗	ライニング厚1mm以上のこと	M		ノキス、スグール等により測定する
		作動状況	自重降下すること	D		
	自重降下速度	6m/min以下または開閉装置の仕様とおりのこと	M		開度計の変化をストップウォッチで測定。	
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機

No. 4

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
減速装置	本体(減速機)	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	H		
		漏油	漏油がないこと	E		
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E		
		潤滑油劣化	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと	E		
	内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施			
動力伝達部	切替装置	作動状況	スムーズに切り替えられること	D		
		連動軸	変形	変形がないこと	E	
	軸継手	損傷	損傷がないこと	E		
		振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		芯振れ	異常な芯振れがないこと	必要に応じて実施		
		給油状態	油が供給されていること、油の劣化がないこと	E		
		内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施		
扉体駆動部	スピンドル	変形、曲り	変形、曲りがないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		磨耗	磨耗がないこと	M		ノギスにより測定する。
		油切れ	ネジ部にグリースが付着していること	E		
扉体駆動部	ラックピン	磨耗	開閉装置メーカーに許容値を確認のこと	E, M		
		給油状態	ラックピンにグリースが付着していること	E, H		
	ラック棒	変形	変形がないこと	E		
		異常音	異常音がないこと	S		
保護装置	過負荷防止機構	作動状況	正常に作動すること	D		
	リミットスイッチ	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D		
開度計	機械式	作動状況	実掲程と指針表示が合致していること	D		
		盤面の曇り	表示窓が透明で、視認に支障がないこと	E		
中間振止	中間振止	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		スピンドルとの干渉	スピンドルと干渉しないこと	E		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機

No. 5

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	塗装	損傷	傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
外観	水滴の付着	水滴が付着していないこと	E			
油圧シリンダ	ピストンロッド	スティックスリップ、ビビリ等の振動、異音	異音、異常が感じられる振動がないこと	H, S		
		すべり面(めっき)の損傷	油漏れが生じるような損傷がないこと	E		
		ロッド部の発錆	発錆がないこと 発錆により油漏れが発生していないことを確認する	E		
		ロッドパッキン部の油漏れ	油が垂れていないこと パッキンを締め付けても油漏れがなくなる場合にはその量を計測する	E		
		曲がり	目視で曲がりが生じていないこと 曲がりがある場合にはストレッチ等でその量を計測する	E, M		ストレッチ等により測定
	キャップ、ヘッドカバー	ボルトナットの弛み	油漏れが生じていないこと 弛みがないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	ゲート操作に支障がないこと 目安:50mm/24hr	M		
	配管接続部	ボルトナットの弛み	弛みがないこと 油漏れが生じていないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
油圧ユニット	油圧ユニット外面	外面の水滴、塵埃ほこり	ユニット外面に水滴、塵埃、ほこり等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		銘板類の損傷	銘板類の脱落、汚損がないこと	E		
	油漏れ	油圧ユニット設置部	油圧ユニット設置床面に、油溜りや油が滴下した形跡がないこと	E		
		油タンク部	油タンク上面に油溜りがないこと	E		
		油圧機器、配管	油圧機器や配管から油が垂れていないこと	E		
	油タンク	油面	油タンクの油面が油面計に印された正常な範囲にあること	E		
		油温	点検時、通常のゲート開閉運転を行い、作動油の温度上昇が30℃以下であることを確認する	M		温度計により測定
	油圧発生装置	電流値	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること	M		電流計にて測定
		電圧値	作動時の電圧降下が±10%以下であること	M		電圧計にて測定
		異常騒音	有害な異常音がないこと	S		
		振動	有害な振動がないこと	H		
		発熱	異常な温度上昇がないこと	H		
		ポンプ取付ボルト配管との接続ボルト	取付ボルト、配管との接続ボルトに弛みが生じていないこと	E, H		
	油漏れ	油面計取付部、ドレンバルブからの油漏れがないこと	E			
油圧ユニット	付属設備	端子箱	端子箱の内部に水分や塵埃、ほこり等の付着がないこと 端子箱内面や結線部が錆付いていないこと 端子接続部に弛みを生じていないこと	E		
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラ・スライドゲート/ラック・スピンドル・油圧式開閉機

No. 6

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
油圧配管	配管部	管継手部漏油(ニップル、ユニオンソケットなど)	ウェスで清掃し、新たに油がにじみ出さないこと	E		
		管溶接部の割れ(ソケット、管固定部など)	割れないこと	E		
		配管の割れ	割れないこと	E		
		管汚れ	管の汚れのないこと	E		
		塗装	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
作動油	作動油	分析	色、粘度変化率、全酸化、水分、汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと	M		専門検査機関に依頼する。
扉体休止装置	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		水滴の付着	水滴が付着していないこと	E		
	油圧シリンダ内蔵自動着脱式休止装置	油漏れ	油圧シリンダヘッド部が油で漏れていなければ良い	E		
		作動確認	ロッドが所定量移動すれば良い 休止操作が円滑に行え、正常な休止状態が確保できること	M		移動量をメジャーで測定
		リミットスイッチ作動確認	機側操作盤の表示ランプが点灯すれば良い	D		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

ローラ・スライドゲート／ラック・スピンドル・油圧式開閉機

No. 7

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				運転時点検	判定	
機側操作盤全般	盤全体	清掃・塗装状態	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗膜の割れ、腐食がないこと			
		破損	破損がないこと			
		塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと			
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと			
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること			絶縁抵抗計により測定
	機器、計器類共通	汚れ	汚れがないこと			
		変色	変色がないこと			
		端子のゆるみ	端子のゆるみがないこと			
		異常音	異常音がないこと			
	計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること		
0点確認			ゲート停止時に0点を指していること			
電圧計		電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること			機側操作盤の電圧計の読み
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく動作すること			
		異常音	異常音、振動がないこと			
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと			
	漏電継電器	動作テスト	テストボタンを押して動作すること			
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと			
リレー類	補助リレー	動作テスト	異常音、振動がないこと			
		異常音	異常音がないこと			
	3Eリレー	動作テスト	テストボタンを押して動作すること			
		設定値確認	図面通りの設定値であること			
サーマルリレー	動作テスト	テストボタンを押して動作すること				
タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること				
押釦	押釦スイッチ	動作テスト	開、閉、停が的確に作動すること			
表示灯	表示灯	ランプテスト	点灯すること			
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること			
指示計	開度指示計	指示	実際掲程（または発信機）と指示値が合致していること、セルシン式は発信器の指示値に応動していること			開度指示計の読み
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと			
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと			
	端子台	腐食	発錆がないこと			
配管	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと			
	配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと			
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機

No. 1

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考	
				待機系設備			
				年点検	判定		
				基本周期 1年毎			
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
		塗装	損傷	損傷がないこと	E		
扉体	構造全体	振動	異常振動がないこと	H			
		異常音	異常音がないこと	S			
		片吊り	異常な傾き(片吊り)がないこと	E			
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に 応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	主桁、補助桁	溶接部の割れ	割れがないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に 応じて実施			
	ヒンジ部	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
	ボルト、ナット	歪み	歪みがないこと	E			
		作動状況	作動すること	D			
		ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H			
	水密部	水密ゴム	損傷	損傷がないこと	E		
			腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
			変形	変形がないこと	E		
			漏水	機能に支障がないこと	E		
	戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
			ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
外観		変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
		塗装	損傷	損傷がないこと	E		
戸当たり	水密板	劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	戸当り	溶接部の割れ	割れがないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	ヒンジ部	溶接部の割れ	割れがないこと	E			
		変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
ボルト、ナット	溶接部の割れ	割れがないこと	E				
	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H				
	損傷	損傷がないこと	E				
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
特記事項							

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機

No. 2

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
				基本周期 1年毎		
開閉装置全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
	塗装	損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E		
構造部	構造全体	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
	架台	たわみ	たわみがないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
動力部	電動機	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	M		温度計により確認
		電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M		機側操作盤の電流計の読み
		電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M		機側操作盤の電圧計の読み
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること	M		絶縁抵抗計
	手動装置	内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施		
		作動状況	円滑に開閉操作ができること	D		
	操作力	操作力が100N以下であること	M		バネ計りで計測	
制動部		作動状況	確実に作動し、瞬時に停止すること	D		
		制動部の清掃状態	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
減速装置	本体(減速機)	振動	異常振動がないこと	H		
		異常音	異常音がないこと	S		
		温度上昇	異常な温度上昇がないこと	H		
		漏油	漏油がないこと	E		
		潤滑油量	油面計の規定内であること	E		
		潤滑油劣化	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと	E		
		内部状態	構成部品に損傷、異常な磨耗がないこと	必要に応じて実施		
動力伝達部	切替装置	作動状況	スムーズに切り替えられること	D		
	手動装置	作動状況	スムーズに切り替えられ、手動操作が行えること	D		
扉体駆動部	シーブ、軸、軸受	磨耗	磨耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		回転状況	正常に回転すること	D		
	ワイヤロープ	ごみ、異物の付着	ごみ、砂塵等がロープに付着していないこと	E		
		磨耗	異常な磨耗がないこと。ノギスにより計測。JIS(右欄)参照	M		JIS規格(G3525、G3546)
保護装置	過負荷防止機構	作動状況	正常に作動すること	D		
	リミットスイッチ	作動状況	設定値にて正常に作動すること	D		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機

No. 3

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検	判定	
				基本周期 1年毎		
全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E		
	塗装	損傷	傷がないこと	E		
		劣化	発錆、ふくれ、電裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
外観	水滴の付着	水滴が付着していないこと	E			
油圧シリンダ	ピストンロッド	スティックスリップ、ビビリ等の振動、異音	異音、異常が感じられる振動がないこと	H, S		
		すべり面(めっき)の損傷	油漏れが生じるような損傷がないこと	E		
		ロッド部の発錆	発錆がないこと 発錆により油漏れが発生していないことを確認する	E		
		ロッドパッキン部の油漏れ	油が垂れていないこと パッキンを締め付けても油漏れがなくなならない場合にはその量を計測する	E		
		曲がり	目視で曲がりが生じていないこと 曲がりがある場合にはストレッチ等でその量を計測する	E, M		ストレッチ等により測定
	キャップ、ヘッドカバー	ボルトナットの弛み	油漏れが生じていないこと 弛みがないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	ゲート操作に支障がないこと 目安; 50mm/24hr	M		
	配管接続部	ボルトナットの弛み	弛みがないこと 油漏れが生じていないこと	H		
		油漏れ	油漏れがないこと	E		
油圧ユニット	油圧ユニット外面	外面の水滴、塵埃ほこり	ユニット外面に水滴、塵埃、ほこり等の付着がないこと	E		
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E		
		銘板類の損傷	銘板類の脱落、汚損がないこと	E		
	油漏れ	油圧ユニット設置部	油圧ユニット設置床面に、油溜りや油が滴下した形跡がないこと	E		
		油タンク部	油タンク上面に油溜りがないこと	E		
		油圧機器、配管	油圧機器や配管から油が垂れていないこと	E		
	油タンク	油面	油タンクの油面が油面計に印された正常な範囲にあること	E		
		油温	点検時、通常のゲート開閉運転を行い、作動油の温度上昇が30℃以下であることを確認する	M		温度計により測定
	油圧発生装置	電流値	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること	M		電流計にて測定
		電圧値	作動時の電圧降下が±10%以下であること	M		電圧計にて測定
		異常騒音	有害な異常音がないこと	S		
		振動	有害な振動がないこと	H		
		発熱	異常な温度上昇がないこと	H		
ポンプ取付ボルト配管との接続ボルト		取付ボルト、配管との接続ボルトに弛みが生じていないこと	E, H			
	油漏れ	油面計取付部、ドレンバルブからの油漏れがないこと	E			
油圧ユニット	付属設備	端子箱	端子箱の内部に水分や塵埃、ほこり等の付着がないこと 端子箱内面や結線部が錆付いていないこと 端子接続部に弛みを生じていないこと	E		
特記事項						

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機

No. 4

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検 基本周期 1年毎	判定	
		管溶接部の割れ (ソケット、管固定部など)	割れないこと	E	良・否	
		配管の割れ	割れないこと	E	良・否	
		管汚れ	管の汚れのないこと	E	良・否	
		塗装	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E	良・否	
作動油	作動油	分析	色、粘度変化率、全酸化、水分、汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと	M	良・否	専門検査機関に依頼する。
扉体 休止装置	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油等の付着がないこと	E	良・否	
		塗装の状態	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと	E	良・否	
		水滴の付着	水滴が付着していないこと	E	良・否	
	油圧シリンダ 内蔵自動着脱 式休止装置	油漏れ	油圧シリンダヘッド部が油で漏れていなければ良い	E	良・否	
		作動確認	ロッドが所定量移動すれば良い 休止操作が円滑に行え、正常な休止状態が確保できること	M	良・否	移動量をメジャーで測定
	リミットスイッチ 作動確認	機側操作盤の表示ランプが点灯すれば良い	D	良・否		

特記事項

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表

フラップ・マイターゲート／簡易ウインチ・油圧式開閉機

No. 5

装置区分	点検項目	点検内容	E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考	
				待機系設備			
				年点検	判定		
				基本周期 1年毎			
機器、計器類 共通	塗装状況	鋼板表面に塗膜の割れおよび腐食がないこと		E	良・否		
		内部温度・湿度状態	乾燥していること、また異常高温になっていないこと	E, H	良・否		
		絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ異常であること	M	良・否	絶縁抵抗計により測定	
	機器、計器類 共通	汚れ	汚れがないこと		E	良・否	
		変色	変色がないこと		E	良・否	
		端子のゆるみ	端子のゆるみがないこと		E, H	良・否	
		異常音	異常音がないこと		S	良・否	
計器類	電流計	電流値	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること	M	良・否	機側操作盤の電流計の読み	
		0点確認	ゲート停止時に0点を指していること	E	良・否		
	電圧計	電圧値	作動時の定格電圧が±10%以内であること	M	良・否	機側操作盤の電圧計の読み	
開閉器類	電磁接触器	動作テスト	異常なく作動すること	D	良・否		
		異常音	異常音、振動がないこと	D, S	良・否		
		接点	接点に変色がないこと、接点溶着がないこと	D, E	良・否		
	漏電継電器	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D	良・否		
	避雷器	ランプテスト	正常に点灯すること、ヒューズが落断していないこと	E, H	良・否		
	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト	サーモスイッチの設定を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し動作を確認する。	D	良・否		
リレー類	補助リレー	作動テスト	異常音、振動がないこと	D, S, E	良・否		
		異常音	異常音がないこと	D, S, H	良・否		
	3Eリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D	良・否		
		設定値確認	図面通りの設定値であること	E	良・否		
サーマルリレー	作動テスト	テストボタンを押して作動すること	D	良・否			
タイマー	設定値確認	図面通りの設定値であること	E	良・否			
押釦	押釦スイッチ	作動テスト	開、閉、停が的確に作動すること	D, E	良・否		
表示灯	表示灯	ランプテスト	点灯すること	D, E	良・否		
	盤内蛍光灯	点灯、球切れ	点灯すること	D	良・否		
指示計	開度指示計	指示	実際掲程（または発信機）と指示値が合致していること、セルシン式は発信器の指示値に応動していること	D, E, M	良・否	開度指示計の読み	
配線	盤内配線	配線状態	損傷がなく断線していないこと	E	良・否		
		端子のゆるみ、脱落	断線がないこと、ゆるみがないこと	E, H	良・否		
	端子台	腐食	発錆がないこと	E	良・否		
	端子台取付ボルト	ゆるみ、脱落	ゆるみがないこと	E, H	良・否		
配管	配管	配管状態	ひび割れ、腐食、止め具のゆるみ、脱落等がないこと	E	良・否		
特記事項							

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 修理用ゲート/管理橋支持式

No. 1

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考	
				待機系設備			
				年点検 基本周期 1年毎	判定		
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
		塗装	損傷 劣化	損傷がないこと 発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E E		
扉体	構造全体	ピンの装着状況	ゲートの設置、撤去に支障がないこと	E			
		変形 損傷	変形がないこと 損傷がないこと	E E			
	スキンプレート	板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
		変形 損傷	変形がないこと 損傷がないこと	E E			
	主桁、補助桁	板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
	クサビ	扉体圧着状態	水密ゴムと戸当りにすきまがないこと	E			
		ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H			
	ボルト、ナット	損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		摩耗	摩耗がないこと	E			
	支承部	摺動板	損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)			腐食(孔食)がないこと	E			
摺動状態			異常なく開閉すること	D			
サイドシュー		摩耗	摩耗がないこと	E			
	損傷	損傷がないこと	E				
吊り金物、吊りピン	損傷	損傷がないこと	E				
	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E				
水密部	水密ゴム	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		劣化	劣化がないこと	E			
		漏水	機能に支障がないこと	E			
	ゴム押え板	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E			
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E			
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E			
		塗装	損傷 劣化	損傷がないこと 発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E E		
	取外し戸当り	中間戸当り	変形	変形がないこと	E		
			損傷	損傷がないこと	E		
腐食(孔食)			腐食(孔食)がないこと	E			
溶接部の割れ			割れがないこと	E			
ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H				
	損傷	損傷がないこと	E				
埋設部	床版アンカ部	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		摩耗	摩耗がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
		溶接部の割れ	割れがないこと	E			
	底部戸当り	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E			
		損傷	損傷がないこと	E			
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E			
	コンクリート部	コンクリートの損傷	損傷がないこと	E			
コンクリートの漏水		機能に支障がないこと	E				

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

点検項目表 修理用ゲート／角落し式

No. 1

装置区分	点検項目	点検内容	判定方法 E:目視 M:測定 H:触診・指触 S:聴診・聴覚 D:動作確認 W:分解	設備区分レベル I		備考
				待機系設備		
				年点検		
扉体全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
		塗装	損傷 劣化	損傷がないこと 発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E E	
扉体	構造全体	ピンの装着状況	ゲートの設置、撤去に支障がないこと	E		
	スキンプレート	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
	主桁、補助桁	溶接部の割れ	割れがないこと	E		
		変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		板厚の減少	測定結果により判定のこと	必要に応じて実施		
	クサビ	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		溶接部の割れ	割れがないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		扉体圧着状態	水密ゴムと戸当りにすきまがないこと	E		
	ボルト、ナット	ゆるみ、脱落	ゆるみ、脱落がないこと	E, H		
損傷		損傷がないこと	E			
腐食(孔食)		腐食(孔食)がないこと	E			
支承部	摺動板	摩耗	摩耗がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		摺動状態	異常なく開閉すること	D		
	サイドシュー	摩耗	摩耗がないこと	E		
吊り金物	吊り金物、吊りピン	損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
水密部	水密ゴム	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		劣化	劣化がないこと	E		
		漏水	機能に支障がないこと	E		
	ゴム押え板	変形	変形がないこと	E		
戸当り全般	清掃状態	汚れ	ひどい汚れ、油脂の付着がないこと	E		
		ごみ、流木、土砂等	ごみ、流木、土砂等がないこと	E		
	外観	変形、損傷	損傷、変形がないこと	E		
		塗装	損傷 劣化	損傷がないこと 発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白悪化がないこと	E E	
埋設部	底部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
		腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
	側部戸当り	変形	変形がないこと	E		
		損傷	損傷がないこと	E		
	コンクリート部	腐食(孔食)	腐食(孔食)がないこと	E		
		コンクリートの損傷 コンクリートの漏水	損傷がないこと 機能に支障がないこと	E E		